

かれんな高山植物や大空を飛ぶ鳥、花畑を舞うチョウなど野生の動植物は、私たちが暮らす自然環境の維持に大きな役割を果たすとともに、生活に安らぎや潤いをもたらす大切な存在です。

しかし、地球上では現在、かつてない速さで野生動植物の絶滅が進行しています。わが国でも開発などに伴う生息・生育地の消滅や減少、植物の盗採などから、多くの種が絶滅、あるいは絶滅の危機にひんしています。豊かな自然を有する本県でも、希少な野生動植物は、約1,000種にも及びます。

県では、県内の希少な野生動植物を保護していくために、「岩手県希少野生動植物の保護に関する条例」を制定し、平成14年12月16日から施行しています。この条例

に基づき、希少野生動植物のうち、特に規制措置による保護が必要な16種を「指定希少野生動植物」に指定し、さらに指定希少野生動植物のうち、栽培品の流通を把握し、盗採などによる違法品が販売流通に乗らないように監視が必要な10種を「特定希少野生動植物」に指定しています。

世界中で早池峰山にのみ生育するハヤチネウスユキソウやナンブトラノオをはじめ、野生動植物は県民共有の財産です。この貴重な財産を次代に引き継いでいくため、県では、県民の皆さんの協力のもと、違法な捕獲・採取の取り締まりや希少野生動植物の生息・生育地の保護に取り組んでいきます。

指定希少野生動植物

指定希少野生動植物の生きている個体を**捕獲、採取、殺傷、損傷することはできません**。違法捕獲などには罰則があります。

学術研究などのために捕獲などを行う場合は、**あらかじめ知事の許可を受ける**必要があります。

特定希少野生動植物

特定希少野生動植物の栽培品の譲り渡しの業務（有償・無償を問いません）を行う事業者は、**知事に届け出し、譲り渡した数量などを記録した書類を備えておく義務**があります。

特定希少野生動植物を購入するときは、**届出事業者から購入**しましょう。

届出事業者は店舗などに届出済証が掲示されています。

私たちが行わなければならないこと

■事業者の皆さんは

事業活動を行う場合は、希少野生動植物の生息地などの環境の悪化を防止するため、**環境への負荷の低減に努め**ましょう。

※例えば…

事業予定地に希少野生動植物がないかどうかを調査し、希少野生動植物を発見した場合は保護のための措置をとりましょう。

■県民の皆さんは

希少野生動植物の保護に努め、**希少野生動植物に影響を及ぼす行動は控え**ましょう。

※例えば…

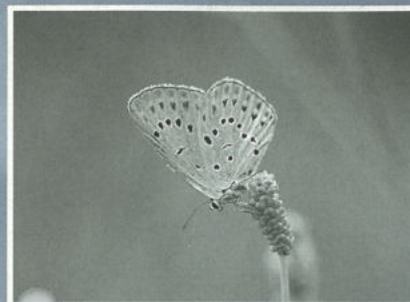
希少野生動植物が住む身近な自然環境を地域のみんなで守りましょう。登山道を歩くときは、道を踏みはずして高山植物を踏まないよう気をつけましょう。



撮影/猪苗代正憲さん

◎ハヤチネウスユキソウ (キク科)

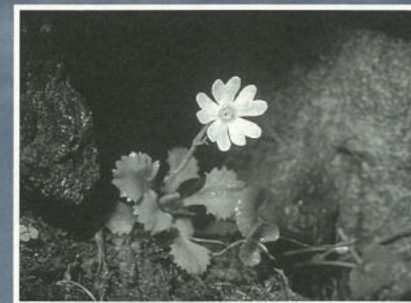
高さ10~20cmになる多年生草本。花の下に5~15枚の白い葉を直径4~6cmの星状につける。頭花は4~8個。早池峰山を代表する植物といわれる固有種。



撮影/小池聡さん

◎ゴマシジミ (シジミチョウ科)

オスの羽は灰青色、メスは黒褐色。幼虫はワレモコウの茎を食べ、3~4令からアリの巣に入り、その幼虫を捕食する。盛岡周辺と久慈地域に分布。



撮影/猪苗代正憲さん

◎ヒメコザクラ (サクラソウ科)

高さ10cm程の小型の多年生草本。根元から5~12枚の葉を出し、6月に花茎を伸ばし1~4個の白い花が咲く。早池峰山などの蛇紋岩地帯に分布する。



撮影/小池聡さん

◎イワテセダカオサムシ (オサムシ科)

黒色でかすかな金属光沢を帯びる。森林の落ち葉や石の下などに住み、他の昆虫などを捕食する。県内特産の亜種で、沿岸部の山地の極めて狭い地域に生息する。

◎ナンブトラノオ (タデ科)

高さ15~30cmになる多年生草本。8月に淡紅色の小さな花を短い円筒状に密集して咲かせる。早池峰山にのみ分布する固有種。

◎ナンブトウチソウ (バラ科)

高さ30~60cmになる多年生草本。葉は極めて短い柄で茎とつながり、淡紅色を帯びた小さな花が穂状に集まって咲く。県内では早池峰山にのみ分布する。

◎トチナイソウ (サクラソウ科)

高さ3~5cmの小型の多年生草本。白い毛で覆われた茎を根元から伸ばし、その先端に2~4個の小さな白色の花を咲かせる。県内では早池峰山にのみ分布する。

◎ナンブイヌナズナ (アブラナ科)

高さ20cm程になる多年生草本。全体に星形の毛があり、鮮やかな黄色の花を咲かせる。県内では早池峰山にのみ分布する。

◎チシマツガザクラ (ツツジ科)

常緑性で広葉の小低木。7~8月に枝先から伸びた茎の先に淡紅色の花を2~10個咲かせる。県内では早池峰山にのみ分布する。

◎エゾノツガザクラ (ツツジ科)

高さ8~25cmの常緑性小低木。7~8月に卵形のつぼの形をした淡紅色の花が2~7個下向きに咲く。県内では早池峰山にのみ分布する。

◎チシマギキョウ (キキョウ科)

高さ5~15cmの小型の多年生草本。7~8月に長さ3cm程の鐘形で青紫色の花を1個つける。県内では早池峰山と八幡平に分布する。

◎リシリシノブ (ホウライシダ科)

夏緑性のやや繊細なシダ植物。胞子葉は長いもので30cm程になる。県内では早池峰山、五葉山、焼石岳などに分布する。

◎ゴヨウザンヨウラク (ツツジ科)

高さ1~2mの夏緑性、広葉の低木。6月下旬に長さ約1cmの細長い釣り鐘形の花を咲かせる。五葉山のみに分布する固有種。

◎チシマウスバスマリ (スマリ科)

高さ10cm程の多年生草本。葉に白く細い毛があり、6月上旬~7月上旬に白い花が咲く。早池峰山、五葉山などに分布する。

◎ホソバノシバナ (シバナ科)

高さ10~30cmの多年生草本。葉は幅1mm程度、長さ10~25cmと細長く、地下茎は短い。7~8月に小型の花が咲く。滝沢村などに分布。

◎ゲイビゼキショウ (ユリ科)

石灰岩の岩場で水が少ししたたり落ちる場所を好む。7月に高さ15~25cmの茎の先に小さな白色の花が穂状に集まって咲く。東山などに分布する。

◎…指定希少野生動植物であり、特定希少野生動植物
○…指定希少野生動植物

